平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	データベース2(Database 2)			**授業コード**	C165751
担当教員名	濱田　大助				
配当学年	2	**開講期**	後期		
必修・選択区分	選択(教職必修)	**単位数**	2		
履修上の注意または履修条件	特にデータベース1の継続科目となりますので、SQLの基本から実施していきます。 また、前回同様RDBMSへの接続を行い、具体的に演習を交え学習を進めます。学習の理解状況により進み方が予定通りではなくなります。※予め予告します。				
受講心得	欠席した学生はその授業で出された課題の回答、レポートの提出はできません。 コンピュータを使用するIDとパスワードを確認しておく。 体調不良の場合は遠慮せず申し出ること。 教室内では以下の事項を禁止します。 ・飲食、喫煙、緊急以外の携帯電話操作 ・指示をしていない「話し合い」 ・講義に関係の無いサイト、漫画、雑誌の閲読 ・他の講義の演習課題の作業等 ・その他、直接講義と関係の無い事項 ・帽子、サングラス、イヤホン(PC接続含む)の着用				
教科書	必要に応じプリントやPDF、EPUB資料等を配布します。				
参考文献及び指定図書	データベースシステム　昭晃堂(北川博之著)				
関連科目	情報ネットワーク、情報セキュリティ、ハードウェア実験、マルチメディア演習、ドキュメントデザイ				

授業の目的	情報化社会の急速な発展の中、今日の情報産業の生産物はさまざまな人間の社会活動や情報技術との相互作用によってもたらされるシステム―情報システム―ととらえることができます。リレーショナル型データベースとその言語であるSQL(　エス　キュー　エル　)を学習し、実際にデータベースを構築、利用し、情報検索・情報発信の実習を通して理解を深めます。社会組織において情報を効率よく利用できるようにした情報システムを如何に構築し如何に活用していけばいいのかを議論します。
授業の概要	配布テキストに沿い、データベースについて目的を達成すべく演習を交え進めていきます。 Android端末をはじめとするさまざまな箇所で使用されているデータベースシステムを配布を用います。 複数の利用者で更新するなどの場合をネットワーク先サーバを用いて確認します。

○授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第1週： 1 オリエンテーション　確認テスト	WEB資料(学内のみ)
第2週： 2 復習　データベース言語SQL(範囲は確認テストによる)	WEB資料(学内のみ)
第3週： 3 復習　データベース言語SQL(範囲は確認テストによる)	WEB資料(学内のみ)
第4週： 4 SQLによる集合関数	WEB資料(学内のみ)
第5週： 5 集合関数の応用例	WEB資料(学内のみ)
第6週： 6 データモデル	WEB資料(学内のみ)
第7週：	

7 これまでのまとめと理解度テスト	
第 8 週 : 8 スキーマ と ビュー	WEB資料（学内のみ）
第 9 週 : 9 スキーマ と ビュー （郵便番号検索のデータベース作成）	WEB資料（学内のみ）
第10週 : 10 データベースの設計	WEB資料（学内のみ）
第11週 : 11 データベースの設計例	WEB資料（学内のみ）
第12週 : 12 SQL権限付与と表の変更	WEB資料（学内のみ）
第13週 : 13 データベースシステムの運用と管理	WEB資料（学内のみ）
第14週 : 14 データベースシステムの運用と管理	WEB資料（学内のみ）
第15週 : 15 これまでのまとめと理解度テスト	WEB資料（学内のみ）
第16週 : 期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考	調べ学習の課題を提示します。インターネットでは調査できない事実があることに気が付いてく	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	宿題・課題の取り組みを報告できる。
【知識・理解】	データベースの構築・運営に係る技術等についての理解ができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	SQL文の構築と、解読ができる。
【思考・判断・創造】	SQL文の構築と、解読ができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	65点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	毎回、講義中に授業内容について課題を出します。達成水準の目安は以下の通りです。 「S」：シラバス学修目標を修得するために達成すべき到達目標を満たしている
発表・その他（無形成果）	提出された課題のうち、優れた解答をした者は、加点することがあります。